

# 青年招へい事業

韓国

[交流レポート]

## 청년 초청 사업

한국

[교류 보고서]

JICA LIBRARY



1173754[1]

2000

国際協力事業団

国内研

JR

01-04

# 信頼と友情への第一歩

신뢰와 우정에의 첫걸음

## 平成12年度韓国青年招へい事業

2000년도 대한민국 청년 초청사업

### [開講式]

개강식



国際協力事業団より歓迎のあいさつ  
국제협력사업단의 환영 인사 말씀



いよいよ日本でのプログラムの始まりです  
드디어 일본에서의 프로그램 시작



日本での経験に期待で胸がふくらみます  
일본연수에 대한 기대감으로 가슴이 부풀립니다

### [共通プログラム]

공통 프로그램



自己紹介  
자기소개



体験的日本語学習  
직접 체험 하는 일본어 학습



「お名前は?」「お仕事は?」  
이름은? 직업은?

# [分野別都内プログラム]

분야별 도내 프로그램



施設見学  
시설 견학



国会議事堂にて  
국회의사당에서



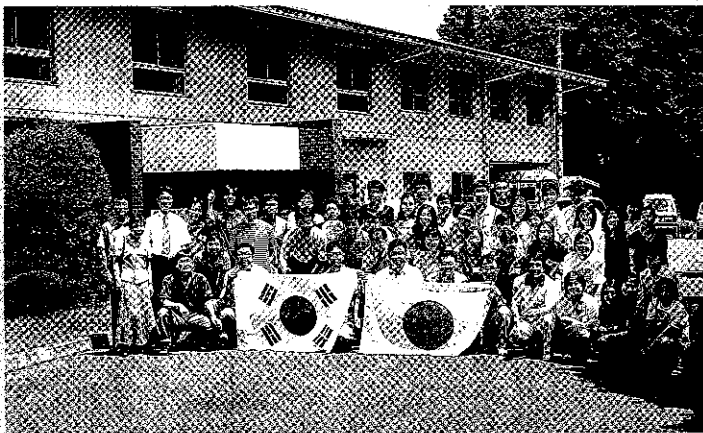
韓国文化の紹介  
한국 문화 소개



パーティーでは笑顔が絶えません  
파티에서는 웃음이 떠나지 않습니다

# [合宿セミナー]

합숙 세미나



記念撮影  
기념 촬영



新しい日本の友人と  
새로운 일본 친구들과 함께



交流の楽しいひととき  
교류의 즐거운 시간



武道交流  
무도 교류



1173754[1]

意見交換会の成果を発表  
의견교환회에서 성과 발표

# [分野別地方プログラム]

분야별 지방 프로그램



はい、ポーズ  
자, 찍겠습니다

活発な意見交換会  
활발한 의견 교환회



楽しい思い出がたくさんできました  
즐거움 추억이 많이 생겼습니다



ようこそ!  
잘 오셨습니다

日本文化体験  
일본문화 체험



永遠の友情を誓って  
영원한 우정을 맹세하면서

# [ホームステイ]

홈스테이



スポーツでもに汗を流しました  
스포츠로 함께 땀을 흘렸습니다



一緒に踊りましょう  
함께 춤을 추어요



日本に新しい家族ができました  
일본에 새 가족이 생겼습니다



歌を歌って心は一つです  
노래를 부르면 마음은 하나입니다



みんなでハーベキュー  
우리모두 바베큐 타임

# [見学旅行]

견학여행



広島にて  
hiroshima에서

奈良にて  
nara에서



悠久の歴史に想いをよせて  
유구한 역사를 상념하면서



平和を願って  
평화를 기원하면서

# [閉講式・歓送会]

폐강식·환송회



参加賞の授与  
참가증 수여



プログラムも無事終了  
프로그램도 무사히 종료



韓国側団長よりあいさつ  
한국측 단장님의 인사

# 青年招へい事業

## 청년 초청 사업

日本語編・일본어편.....	3
韓国語編・한국어편.....	25

# 青年招へい事業

## はじめに

「青年招へい事業」は、国際協力事業団（JICA）が開発途上国を対象に実施する技術協力の一環として、将来の国造りを担う青年を、専門分野別に約1カ月間招へいし、それぞれの専門分野について学ぶとともに、ホームステイ受入家族などとの幅広い交流を通じて相互理解を深め、信頼と友情を築くことを目的としています。

招へい国は当初アセアン6カ国のみでしたが、現在は120カ国・地域以上にまで拡大し、昭和59年度に事業を開始して以来、17年間で日本を訪問した青年は21,507名に達しました。これはひとえに、関係各方面の皆様のご協力と温かいご支援によるものと、心からお礼申し上げます。

本報告書は、招へい青年、合宿セミナーに参加した日本青年およびホームステイを引き受けていただいた全国の家庭の皆様から寄せられた感想文を中心に、招へい青年の滞在記録をとりまとめたものです。本報告書が本事業のさらなる発展の指針となり、また皆様の良き思い出の一助となれば幸いです。なお、本報告書は今年度の全招へい青年および各国の関係者にも送付させていただく予定です。

最後となりましたが、心温まるご感想、ご意見をお寄せいただいた皆様ならびに関係者の方々に重ねてお礼申し上げますとともに、「青年招へい事業」がさらに有意義なプログラムとなりますよう、今後ともご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

平成13年3月

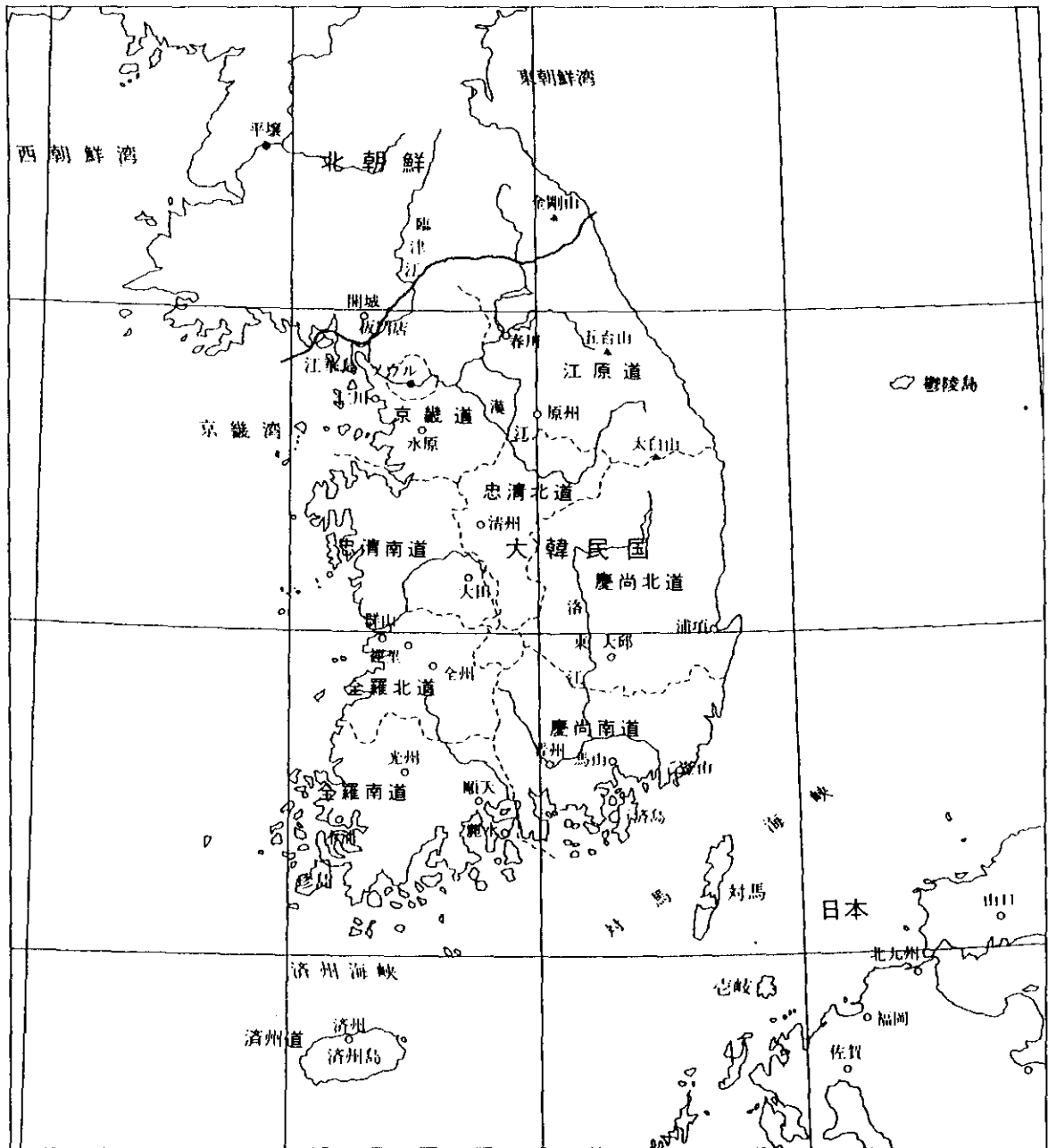
国際協力事業団  
国内事業部  
部長 今津 武



# 目 次

はじめに

1. 韓国青年招へい事業	
1-1 概要 .....	9
1-2 招へい実績 .....	10
2. 招へい青年の印象 .....	13
3. 合宿セミナー参加日本青年の声 .....	15
4. ホストファミリーの思い出 .....	17
〈実績資料〉	
1. 韓国青年招へい実績一覧 .....	21
2. 平成12年度青年招へい実績一覧 .....	22



# 1. 韓国青年招へい事業

## 1-1 概要

### (1) 目的

21世紀に向けて、日本と韓国との友好と協力の関係をより強固かつ実りあるものとするため、未来の国造りを担う韓国の青年をわが国に招へいし、日本の同世代の青年との交流を通じ、相互理解を深め、真の友情と信頼を培うことを目的とする。

### (2) 実施方法

#### ア 招へい人数

平成12年度は、100名の青年を同時期に受け入れた。

#### イ 招へい対象者

以下の分野の指導的立場にある18～35歳の青年。

- (ア) 青年指導者・公務員 25名  
国家・地方公務員、青少年育成団体職員、等
- (イ) 勤労青年（技術系） 25名  
エンジニア・生産職
- (ウ) 教員（養護学校） 25名  
教諭
- (エ) 学生（理工系） 25名  
理工・医学分野専攻学生

#### ウ 招へい期間

7月5日から8月1日までの28日間。

### (3) プログラム概要

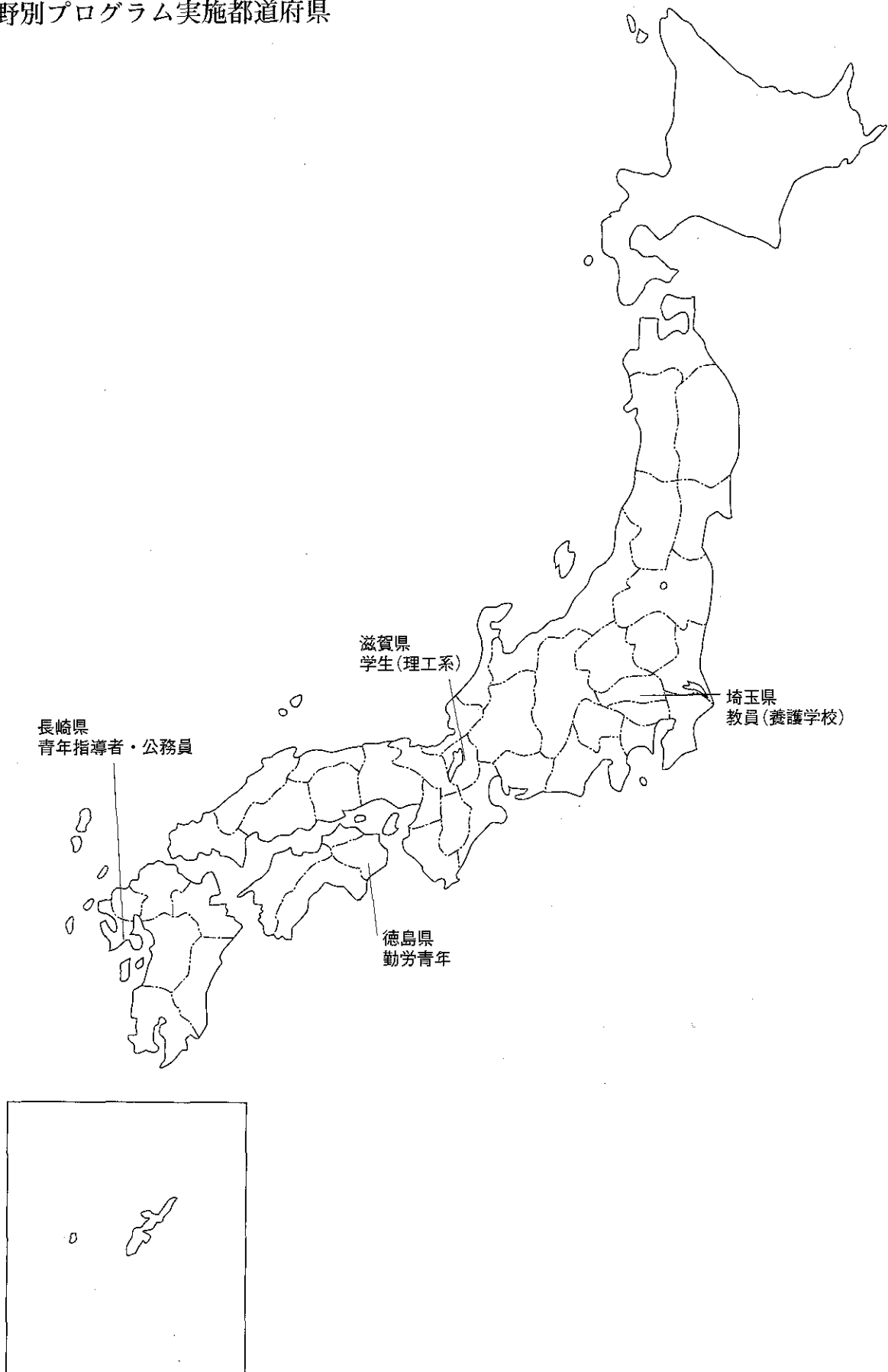
(数日間)	<p>現地オリエンテーションプログラム</p> <p>各グループの日本でのプログラム日程の説明 日本の生活にかかるガイダンス 日本語の日常会話の学習 渡航にかかる説明等</p>
来日	<p>共通プログラム</p> <p>日本の全体像及び日本における各分野の全体的状況について、正確な理解を促進するための文化、経済、歴史及び各分野の基礎的な講義及び施設見学</p>
(28日間)	<p>分野別プログラム</p> <p>都内</p> <p>分野別プログラム</p> <p>招へい分野の講義や関連施設の視察、研修</p> <p>合宿セミナープログラム</p> <p>日本の同分野・同世代の青年との意見交換、交流の場</p> <p>地方</p> <p>分野別プログラム</p> <p>招へい分野の講義や関連施設の視察、研修及び地方の同分野・同世代の青年との交流</p> <p>ホームステイプログラム</p> <p>日本の家庭生活の体験</p> <p>見学旅行プログラム</p> <p>日本の文化、伝統、歴史等を理解するための見学旅行</p> <p>評価プログラム</p> <p>全プログラムに関する評価会</p>
帰国	

### 1-2 招へい実績

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県	地方実施協力団体
青年指導者・公務員	23	(社)日本経済青年協議会	長崎	長崎県世界青年友の会
勤労青年(技術系)	21	(財)日本ユースホステル協会	徳島	徳島県青年海外派遣の会
教員(養護学校)	22	(社)国際交流サービス協会	埼玉	上尾市国際交流協会
学生(理工系)	24	(財)世界青少年交流協会	滋賀	滋賀県青年団体連合会

\*共通・評価プログラムについては、日本国際協力センターが全グループに対して実施した。

### 分野別プログラム実施都道府県





## 2. 招へい青年の印象

### 日本雑感

崔 姫楨  
(青年指導者・公務員グループ)

今まで私にとって、日本は関心のない国だったので、日本語はもちろん、日本の文化や社会についても知ろうという努力さえしてこなかった。

しかし、日本の青年たちとの合宿セミナーを通して、今の時代が要求するものは、国籍ではなく、開かれた健全な心であることを実感した。

ホームステイを通して、日本は韓国となら変わる事のない隣国であることを再確認した。

その一方で、極端に個人主義的な人々の考え方には同調できなかったが、他人に迷惑をかけないという生き方や、親切心などは感嘆に値するものだった。

これらの要素によって今日の日本があるのではないかと考えさせられた。

最後に、松下政経塾で聞いた「今ではなくていつ、私でなければだれか」というひと言には、今回の研修を通じて得たすべてが凝縮されている。

### 日本訪問を終えて

鄭 聖民  
(勤労青年グループ)

まず、私たち韓国勤労青年グループを招へいして下さったJICAに感謝したい。

私たちは、修善寺温泉での合宿セミナー、徳島で

のホームステイ、青年との交流などを通じてありのままの日本を目にし、またお互いの意見を交換することによって友情を深めることができた。

特にホームステイは、家族の一員となって、日本の生活や文化を実際に体験することができ、たいへん有意義なひとときだった。

広島での原爆ドーム視察は感動的で、戦争の悲惨さについてあらためて考えさせられた。

日本人の時間に対する意識、仕事に対する姿勢、衛生観念、現実的な考え方、他人に迷惑をかけない配慮、などの意識の高さは、私たち韓国人がぜひ学ぶべきものではないかと思う。

日本での1カ月は、私の人生においてたいへん貴重な経験であり、感動の毎日だった。

韓国と日本がより近い関係となり、最も親しいパートナーとなることを望んでいる。

### 心の宝石箱

李 賢珠  
(教員グループ)

ホストファミリーの、近所の人のような温かさと優しさに、研修で張り詰めていた私たちの気持ちが和らぎ、2日間一緒に過ごす家に向かった。

小ぢんまりと暮らしやすく整えられた家、手入れの行き届いた小さな庭、そこに咲く丈の低い花々、それらすべては優しさにあふれ、心から私たちを迎えてくれた。私は、日本の家族の一員となり過ごした。その数日間の温かい雰囲気は、日本にもう一つ私の家族ができたような気にさせてくれた。

ホームステイを終えて帰る道すがら、家族と別れる悲しさに、みんな泣きじゃくりたい心を抱え、まぶたを濡らした。

上尾市で過ごした時間は、大切な思い出となった。日常の忙しさに追われて生きていく私たちが、こっそりと開けてみる宝石箱を、優しく素晴らしい街、上尾市で持つことができた。

---

## 心を感じさせてくれた日本

---

成 惠齡  
(学生グループ)

“近くて遠い国”日本には、飛行機に乗って、わずか2時間で着いた。窓の外に見える建物、走っているクルマ、せわしなく歩く人々、同じ髪の色、同じ肌の色。ここが外国だという実感がわいてこなかった。ただ、漢字とひらがなだけが、ここが異国であるのだと思わせた。

日本ではさまざまなものを見た。歴史的遺跡、先端技術を誇る企業、この対照的なものがバランスよく共存していることに驚いた。

しかし、もっと私を驚かせたのは、日本人の温かな心である。道を尋ねた時に、私が駅の構内に入るまで、心配そうに見守ってくれた見ず知らずのおじさん。合宿セミナーで遅くまで語り明かした日本の学生たち。本当の家族のように接してくれたホストファミリー。多くの人が私の心を優しく満たしてくれた。

違う環境、違う言語で生きていても、人間は心があれば通じ合うのだとつくづく感じた。人と人との出会いの素晴らしさに気づいたことが、私の日本滞在においての一番の収穫である。心を感じさせてくれた日本人との出会いをいつまでも大事にしていきたい。



## 3. 合宿セミナー参加日本青年の声

### カムサハムニダ

岩田 賢  
(公務員)

合宿セミナー初日のパーティーで、日本の最新トレンドを知ってもらおうと、「モーニング娘。」の「LOVE マシーン」を披露した。直前2時間の練習で、みんなでアイデアを出し合い振り付けを完成させた。本番では、踊り、太鼓、即興カラオケ等々、飲めや歌えのパーティーになった。

同室の韓国青年とは、一般的な話題にとどまらず、お互いの家族の生き方、価値観などの話も出て、とてもよい経験ができ、いい人と巡り合うことができた。

また今回の合宿で、最も私の耳に残っているのは、“同じ”という言葉だ。韓国青年との会話や分科会での議論を通し、韓国と日本は、国民性も価値観も文化も本当によく似通っていることを知り、驚いた。

こうしたことから、あらためて「アジアの人々とは仲良くなれる」と実感した合宿セミナーだった。

### 和

岩橋 昌子  
(会社員)

3日間という限られた時間のなかで、日本と韓国の持ち味がよく表れた有意義な合宿セミナーだった。

一番印象に残ったのは、韓国青年は一人一人が実によく自分の役割を心得ていた、ということだ。面白い人は目立つし楽しいのだが、そうでない人も静かでありながら存在感があるのだ。無言のうちにそれぞれの存在を認め合っている、そういう雰囲気があった。

“和”というのは、個人が役割を認識して初めて、主張したり譲り合ったりしながら生まれるものかと思ひ、“和”と“個人”という図を、韓国青年の中に強くあるように感じた気がする。

日本は今後、強者と弱者がはっきりした世の中になっていくと思うが、日本に古くからある“和”が、借り物の個人主義でばらばらにならなければいいな、と思った。

## 一 養護学校教師として 合宿セミナーに思うこと

島村 隆博  
(公務員)

今回の合宿セミナーでの私の収穫は、3つある。

1つ目は、養護学校教師として日本以外の国や国内の学校の教師と意見交換ができたことである。国は違っても思いは一緒だった。

2つ目は、人と人との交流である。私自身のテーマの一つである「心と心の会話」の実践、そして国境や言葉の壁の向こうにある「人は皆同じ」という原点を再認識できた。

3つ目は、文化の交流である。韓国の伝統文化に触れ、それを当たり前のこととして大切に受け継いでいる彼らの姿に、「人として生きる」ことの素晴らしさを教えられた。

合宿セミナー最終日には、おのおの別れのあいさつを交わしながら、同じ職業に携わる者として、それぞれの国で「共に頑張ろう」「また会おう」という気持ちでいっぱいだった。

充実したプログラムであった合宿セミナーに感謝している。

## 日韓学生合宿セミナーに参加して

合志 聖子  
(学生)

合宿セミナーを終えて、変わったことがある。人に優しく接するようになったことだ。韓国の学生と知り合って、忘れていた心の温もりを思い出したからだろう。

彼らは純粹でひたむきだ。率直で誠意ある言葉の数々。こちらも夢中になって本音をぶつけた。短い時間であったが、非常に豊かな時を過ごした。希薄になっていく人間関係の中で、こんなに深いかわりを持てるものかと驚かされた。交流は、言葉ではなく心でするものだ、とあらためて感じた。

合宿セミナーは身近な国際交流であるが、日本人としての意識を再確認する場でもあったように思う。

このような企画に参加できて、光榮に思っている。そして彼らから感じた温もりをいつまでも忘れずにいたい。

## 4. ホストファミリーの思い出

### 楽しく貴重な経験

本多 幾子  
(長崎県)

ホームステイを受け入れる、と聞いた時はびっくりしたが、あっという間に受け入れ当日になり、急に緊張し始めた。

ほかのホストファミリーには知人もたくさんいて、少し安心できた。最初の日の夕食をどうしようと思っていたら、知人が、一緒にしようと誘ってくれ、また安心した。

ほとんど、ほかのホストファミリーの方と一緒に行動し、食事の時には、歌ったり踊ったりと楽しい時を過ごした。韓国女性に少し疲れた様子が感じられたが、私たちに気を使ってか、「だいじょうぶ」と笑顔を見せてくれた。

最後の夜のお別れパーティーでは、私の浴衣姿の写真が撮りたかった、と言われ、食事のことやら連れて行く所のことだけに気をとられて、そういうことにまで気が回らなかったことが悔やまれた。

3日間だったが、貴重な経験をさせていただき、私もとても楽しむことができた。そして、もっと英会話の勉強もしなくては、と思っている。

### ミンさん、タシハンボン オセヨ!

野口 和子  
(徳島県)

わが家でのホームステイは、子供たちと仲良しになれば、もうそれで成功と言える。でも、子供が苦手な人にはつらい家庭だ。今回、韓国から来たミンさんは、3人の子供たちと仲良くなり、たくさん遊んでくれた。とりわけ、6歳の息子はポケモンカードを見せて説明したり、パズルをしたりと一番仲良しだった。

子供たちは、韓国人のミンさんではなく、うちに来た一人の“おにいちゃん”として接していた。言葉は通じなくても、一緒に遊ぼう、過ごそうと歩み寄っていく。

お互いに我慢することなく心をぶつけて、少しでも相手を分かりたい、そんな気持ちが楽しいホームステイにしてくれると確信している。

ミンさん、来てくれてありがとう。

### 新たな驚き

鶴田 京子  
(埼玉県)

ホストファミリーになる時、毎回新しい驚きに出合う。今回は韓国。過去の歴史のことや言葉にたいへん心を悩ました。隣国で、髪の色や目の色、顔などはお互いによく似ているにもかかわらず、言葉の障壁で意思の疎通は難しく、「本当に近くて遠い国なんだ」と思った。

対面式で、控えめで優しそうなイーさんを見た時、

そんな思いはすぐになくなった。彼女の希望で家の中で過ごすことが多かったが、アリランを歌っている彼女の表情は素晴らしかったし、彼女が作ってくれた韓国ラーメンは目の玉がぶっ飛んでしまうほどの辛さだったがおいしかった。

娘とピアノを弾いたり、歌ったり、みんなでゲームをしたり、そんなささやかな日常的な生活を彼女は満喫していたようだ。

別れはいつもつらく、涙ぐんでしまう。この感動が、またホームステイを受け入れようという原動力になるのかもしれない。私もともに成長させてくれる、このホームステイプログラムに感謝したい。

---

## 友情の橋渡し

---

川那辺 孝蔵  
(滋賀県)

記録的な猛暑の7月21日から23日の2泊3日、韓国の大学生のホームステイを引き受けた。わが家にとっては、2度目のホームステイである。少しの不安はあったが、家族の協力もあって、JICA、(財)世界青少年交流協会、滋賀県青年団体連合会の役に立て、今回このプログラムを紹介して下さった方に感謝している。

私の住む滋賀県守山市は、1991年8月に韓国・公州市と姉妹都市の提携をし、今日まで国境を超えた交流で新たな文化を生み出している。また今年は、守山市制30周年の年で、公州市長をはじめ公州市の方々を招へいする計画もあり、何か縁があるようにも思えた。

わが家に滞在したのは、洪敬恩さんという大学生で、将来は大学院に進みコンピューター関係の研究をするため日本への留学を希望していた。

わが家には、彼女と同じ年代の大学生の息子が2人おり、3人が互いの文化や情報交換に、片言の韓国語と英語で話し込んでいたのは印象的だった。今後は、コンピューターで情報交換するという。

まさに千年紀の記念すべき年に、素晴らしいプログラムで友情の橋渡しができ、事業の一助となれたことに感謝し、今後よりいっそうの事業推進が図られることを期待している。

# 実績資料



## 1. 韓国青年招へい実績一覧

## ●平成8年度(100名)

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県	地方実施協力団体
青年指導者・公務員	25	(財)日本ユースホステル協会	愛媛	(財)愛媛県国際交流協会
勤労青年	25	(社)勤労厚生協会	滋賀	滋賀県青年団体連合会
教員	25	(社)国際交流サービス協会	茨城	平成8年度茨城県外国青年招へい事業実行委員会
学生	25	(財)世界青少年交流協会	秋田	(財)秋田県国際交流協会

## ●平成9年度(97名)

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県	地方実施協力団体
青年指導者・公務員	25	(財)日本ユースホステル協会	長崎	長崎県ユースホステル協会
勤労青年(事務系)	24	(社)勤労厚生協会	北海道	(社)滝川国際交流協会
教員(小学校)	23	(財)世界青少年交流協会	茨城	茨城県外国青年招へい事業実行委員会
学生(人文・社会系)	25	(社)青年海外協会協会	熊本	熊本県青年海外協力協会

## ●平成10年度(99名)

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県	地方実施協力団体
青年指導者・公務員	24	(財)日本ユースホステル協会	群馬	(財)群馬県国際交流協会
勤労青年(技術系)	25	(社)勤労厚生協会	北海道	(社)帯広青年会議所
教員(中学校)	25	(社)国際交流サービス協会	茨城	茨城県外国青年招へい事業実行委員会
学生(理工系)	25	(財)世界青少年交流協会	北海道	(社)滝川国際交流協会

## ●平成11年度(100名)

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県	地方実施協力団体
青年指導者・公務員	25	(社)青少年育成国民会議	香川	(財)香川県国際交流協会
勤労青年(事務系)	25	(社)勤労厚生協会	大分	大分県海外協会
教員(高等学校)	25	(社)国際交流サービス協会	新潟	(財)新潟県国際交流協会
学生(人文・社会系)	25	(財)世界青少年交流協会	北海道	(社)滝川国際交流協会

## ●平成12年度(90名)

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県	地方実施協力団体
青年指導者・公務員	23	(社)日本経済青年協議会	長崎	長崎県世界青年友の会
勤労青年(技術系)	21	(財)日本ユースホステル協会	徳島	徳島県青年海外派遣の会
教員(養護学校)	22	(社)国際交流サービス協会	埼玉	上尾市国際交流協会
学生(理工系)	24	(財)世界青少年交流協会	滋賀	滋賀県青年団体連合会

\*共通・評価プログラムについては、日本国際協力センターが全グループに対して実施した。

## 2. 平成12年度青年招へい実績一覧

受入時期 陣・人数	国名	分野	人数	都内実施協力団体	実施県	地方実施協力団体
5月10日 } 6月6日 1陣74人	フィリピン フィリピン フィリピン	教員(理数科教育) 農業(水産業) 中小企業経営	23 23 28	(財)世界青少年交流協会 日本青年団協議会 (社)勤労厚生協会	長野 愛媛 山梨	長野県世界青年友の会 愛媛県青年海外協力協会 (社)青少年育成山梨県民会議
5月17日 } 6月13日 2陣100人	中国 中国 中国 中国	青年指導者 経済青年 公務員 教員	25 25 25 25	(社)青少年育成国民会議 (社)国際善隣協会 (財)ユースワーカー能力開発協会 (財)日本友愛青年協会	徳島 群馬 富山 高知	徳島県日中青年交流協会 (財)群馬県国際交流協会 (財)とやま国際センター 高知希望工程基金会
5月17日 } 6月13日 3陣88人	パプア・ニューギニア パプア・ニューギニア 太平洋混成 太平洋混成 太平洋混成	教育(初等教育) 地域開発(経済) 社会開発(教育) 経済開発 環境保全	15 15 23 19 16	(社)国際交流サービス協会 (財)世界青少年交流協会 (社)日本経済青年協議会 (財)日本ユースホステル協会 (社)青年海外協力協会	石川 静岡 岡山 石川 島根	小松市国際交流協会 沼津国際交流協会 (財)岡山県青年館 (財)石川県ユースホステル協会 (財)しまね国際センター
5月24日 } 6月20日 4陣88人	ヴェトナム ヴェトナム インドネシア インドネシア	教育 公務員 教員(理数科教育) 農業(水産業)	22 21 23 22	(財)ユースワーカー能力開発協会 (財)日本ユースホステル協会 (社)勤労厚生協会 (社)青年海外協力協会	宮崎 宮城 群馬 山形	(財)ユースワーカー能力開発協会宮崎支部 宮城県ユースホステル協会 アセアン青年招へい事業館林市実行委員会 山形県青年海外協力協会
5月31日 } 6月27日 5陣69人	タイ タイ タイ	中小企業経営 教員(小学校教員) 農業(水産業)	23 23 23	(社)勤労厚生協会 (財)日本国際協力センター (社)日本経済青年協議会	北海道 香川 大分	とまこまい国際交流センター (財)香川県国際交流協会 大分県海外協会
6月7日 } 7月4日 6陣50人	バングラデシュ カンボディア カンボディア	教員(中等理数科教員) 農業(流通) 公務員(行政改革)	20 15 15	(社)駒ヶ根青年会議所 (社)青少年育成国民会議 (社)日本経済青年協議会	長野 北海道 広島	(社)駒ヶ根青年会議所 青年海外協力協会北海道OB道東支部 広島YMCA
6月21日 } 7月18日 7陣82人	アセアン混成 アセアン混成 アセアン混成	教育行政 保健衛生(保健医) 社会福祉(児童青年福祉)	26 28 28	(社)日本国際生活体験協会 (財)国際看護交流協会 (財)札幌国際プラザ	岐阜 長野 北海道	岐阜県世界青年友の会 (財)国際看護交流協会 (財)札幌国際プラザ
7月5日 } 8月1日 8陣90人	韓国 韓国 韓国 韓国	青年指導者(公務員) 勤労青年(技術系) 教員(養護学校) 学生(理工系)	23 21 22 24	(社)日本経済青年協議会 (財)日本ユースホステル協会 (社)国際交流サービス協会 (財)世界青少年交流協会	長崎 徳島 埼玉 滋賀	長崎県世界青年友の会 徳島県青年海外派遣の会 上尾市国際交流協会 滋賀県青年団体連合会
7月12日 } 8月8日 9陣84人	フィリピン フィリピン ヴェトナム ヴェトナム	行政(中央行政) 地域振興 経済 農業	20 21 22 21	(財)世界青少年交流協会 (社)勤労厚生協会 (財)ユースワーカー能力開発協会 (社)青年海外協力協会	新潟 山口 大阪 茨城	(財)新潟県国際交流協会 (財)山口県国際交流協会 (財)太平洋人材交流センター 茨城県外国青年招へい事業実行委員会
7月12日 } 8月8日 10陣46人	タイ タイ	行政(中央行政) 地域振興(地域社会開発)	23 23	(財)日本国際協力センター (社)勤労厚生協会	北海道 愛知	(社)滝川国際交流協会 ジャパンヤングサークル東海支部
8月16日 } 9月12日 11陣66人	ラオス マレーシア マレーシア	地域開発 行政(中央行政) 農業(水産業)	20 25 21	(財)岩手県国際交流協会 (財)日本国際協力センター (社)青年海外協力協会	岩手 青森 鹿児島	(財)岩手県国際交流協会 青森県青年海外協力協会 (財)鹿児島県国際交流協会
8月16日 } 9月12日 12陣72人	パキスタン アセアン混成 アセアン混成	医療(医師) 経済(貿易) 科学技術	20 28 24	(財)国際看護交流協会 (社)青少年育成国民会議 (財)豊川市国際交流協会	香川 福岡 愛知	香川県青年海外派遣の会 (社)九州・山口経済連合会 (財)豊川市国際交流協会



受入時期 陣・人数	国名	分野	人数	都内実施協力団体	実施県	地方実施協力団体
8月23日 9月19日 13陣52人	アセアン混成 アセアン混成	環境保全(自然環境保全) 公共・公益事業(通信)	28 24	釧路市海外青年招へい事業実行委員会 (社)国際交流サービス協会	北海道 富山	釧路市海外青年招へい事業実行委員会 富山県世界青年友の会
10月11日 11月7日 14陣100人	中国 中国 中国 中国	人材育成 経済開発 地域振興 産業基盤整備	25 25 25 25	(財)日本ユースホステル協会 (社)青少年育成国民会議 (財)ユースワーカー能力開発協会 (社)国際善隣協会	京都 熊本 大阪 群馬	(財)京都ユースホステル協会 熊本県青年海外協力協会 (財)大阪府青少年活動財団 群馬県世界青年友の会
10月25日 11月21日 15陣40人	ミャンマー サウディ・アラビア	教育 教員(小中高教員)	20 20	(社)日本国際生活体験協会 (社)青年海外協力協会	岡山 栃木	岡山県世界青年友の会 (財)栃木県青年会館
11月8日 12月5日 16陣59人	スリ・ランカ ブータン/モルディヴ ネパール インド	教育(小中高教員) 教育(小中高教員) 教育(社会科教員) 教育(理数科教員)	10 9 10 30	(財)日本ユースホステル協会 (財)愛知県国際交流協会 (社)国際交流サービス協会 (財)世界青少年交流協会	静岡 愛知 佐賀 山口	(財)静岡県国際交流協会 (財)愛知県国際交流協会 佐賀ユネスコ協会 世界青年徳山友の会
11月23日 12月20日 17陣61人	アフリカ(仏語圏) アフリカ(仏語圏) アフリカ(仏語圏)	女性教員 理数科教員 保健衛生	19 20 22	(財)世界青少年交流協会 (社)日本経済青年協議会 (財)大阪府国際交流財団	和歌山 岡山 大阪	(財)和歌山県青少年育成協会 津山と世界を結ぶ会 (財)大阪府国際交流財団
11月26日 12月16日 18陣120人	中国 中国 中国 中国 中国	中学校教員1 高等学校教員 小学校教員1 小学校教員2 教員	24 24 24 24 24	(社)青少年育成国民会議 (財)世界青少年交流協会 (社)勤労厚生協会 (財)日本ユースホステル協会 (社)日本中国友好協会	沖縄 福井 鳥取 福岡 三重	(社)沖縄県青少年育成県民会議 鯖江市国際交流協会 とっとり青友会 福岡県外国青年招へい事業実行委員会 (財)三重県国際交流財団
1月10日 2月6日 19陣71人	インドネシア インドネシア インドネシア	中小企業経営 行政 地域振興	24 23 24	(財)日本ユースホステル協会 (財)日本国際協力センター (社)青年海外協力協会	福島 奈良 北海道	福島県青年海外派遣友の会 (社)まちづくり国際交流センター 十勝インターナショナル協会
1月18日 2月14日 20陣99人	中央アジア混成 コーカサス混成 モンゴル 中南米混成(英語) 中南米混成(西語)	経済 経済 地方行政官 社会福祉 小中学校教員	24 15 10 20 30	(社)青少年育成国民会議 (財)日本ユースホステル協会 (財)世界青少年交流協会 (社)日本国際生活体験協会 (社)青年海外協力協会	北海道 大阪 福井 沖縄 福岡	北海道YMCA (財)北海道ユースホステル協会 (財)福井県国際交流協会 (財)沖縄県国際交流人材育成財団 (社)青年海外協力協会九州支部
1月18日 2月14日 21陣72人	マレーシア マレーシア マレーシア	中小企業経営 教員(理数科教育) 地域振興	25 25 22	(社)勤労厚生協会 (社)国際交流サービス協会 (財)日本経済青年協議会	千葉 兵庫 広島	(財)千葉県国際交流協会 (財)兵庫県青少年本部 しょうばろ国際交流協会
1月24日 2月20日 22陣75人	アフリカ(英語圏) アフリカ(英語圏) アフリカ(英語圏)	女性教員 理数科教員 保健衛生	25 27 23	(財)世界青少年交流協会 (社)青少年育成国民会議 (社)青年海外協力協会	福島 京都 愛媛	にほんまつ地球市民の会 (社)青年海外協力協会近畿支部 (財)愛媛県国際交流協会
合計	75グループ 115カ国・地域 1,658人	カンボディア(40) インドネシア(151) ラオス(30) マレーシア(153) ミャンマー(30) フィリピン(150) タイ(150) ヴィエトナム(100) 東ティモール(2) 太平洋14カ国・地域(88) 中国(320) 韓国(90) 南西アジア7カ国(99) モンゴル(10) アフリカ42カ国(136) 中南米31カ国(50) サウディ・アラビア(20) 中央アジア5カ国(24) コーカサス3カ国(15)				

